

議会活性化特別委員会 報告

1. 委員構成

委員長：上田 朋和

副委員長：南出 貞子

委員：上野 清隆、若林 高、荒谷 啓一、一色 眞一、東野 眞樹、中川 敬雄、山口 忠志

2. 調査目的

議会改革、広報・広聴に関する調査研究

3. 調査期間

令和6年9月25日～令和7年9月3日

4. 委員会等開催状況

	委員会	行政視察
令和6年	3回	1回
令和7年	6回	0回
合計	9回	1回

5. 協議事項件数

21件（令和6年：6件、令和7年：15件）

6. 行政視察

◆12月19日 静岡県掛川市議会

「広報・議会報告会について」

◆12月20日 神奈川県開成町

「議会だより、ホームページについて」

7. 主な取組事項

① 大聖寺実業高等学校との意見交換会

若者の市政及び議会への関心度を高める取組の一つとして、大聖寺実業高等学校との意見交換会を開催した。生徒からは「加賀市の活性化」、「加賀市の防災対策」、「加賀市の福祉政策」をテーマに、たくさんの意見、提案があったことから、3月定例会での質問として取り上げた。

② 議会報告会「議会おでかけトーク」の実施

実施要綱に基づき市内11会場（まちづくり単位）で開催した（昨年度は10会場）。当日は4つのテーマを説明した後、テーブルごとに1つテーマを選んでいただき、グループトーク方式による意見交換を行った。グループトークは、各グループの議員が進行役を務めた。



参加者へのアンケートの結果では、グループトーク方式に対し「とても気軽に意見・考えを発言することができた」、「比較的気軽に意見・考えを発言することができた」と回答した方が8割を超えており、参加者からは活発なご意見・ご提案をいただくことができた。

今後は、アンケート結果などを参考にしながら、令和8年度に生かしていく必要があると思われる。



③ 議会おでかけ教室の開催

加賀市の未来を担う子どもたちが、自分たちの市の姿をよく見つめ、地域や社会の将来について考えるとともに、議会や市政の仕組みを深く学び、地域のまちづくりに進んで参加しようとする意識を高めることを目的として、5月22日に山代小学校6年1組から3組で実施した。

議員から加賀市議会の説明を行った後、児童と意見交換を行った。実施後、学校の先生からは「6年生はこの時期に公民の授業で地方自治を学ぶため、児童にとっては大変良い機会になった。」とご意見をいただいた。



④ 中学生議会の開催

加賀市の未来を担う中学生に、選挙権年齢の引き下げにより身近なものとなった議会や市政への理解と関心を高めてもらうとともに、市政に対する要望や質問を発表する機会を提供し、中学生の視点からの意見を今後の市政運営に反映させていくことを目的として、8月5日に中学生議会を開催した。

当日、中学生議長の進行により、11人の中学生議員が市政や学校生活などに対し、若い感性や視点から市当局に質問した。

中学生議員へのアンケートの結果では、「自分で質問を考えることは難しかったが、自分たちの町や市、生活をより良くするために考えられてよかった」、「議会に参加するという普段は経験できない貴重な経験ができてよかった」などのご意見をいただいた。



⑤ 議会改革度調査2024ランキング全国10位

早稲田大学デモクラシー創造研究所（旧早稲田大学マニフェスト研究所）が、毎年、全国の市区町村議会へ議会改革に関するアンケート「地域経営のための議会改革度調査」を実施しており、地域経営のための議会改革度調査2024において、加賀市議会が全国10位という評価をいただいた。

調査項目に対する回答については、委員会で回答案について協議し、ランキング向上に資するさらなる議会改革の取組が実施できるかどうかについて検討した上で回答した。

8. 調査の結果

本委員会では、この間、9回の会議を開き、議会活性化に向けた議論や調査を重ね、着実に実行してきた。

早稲田大学デモクラシー創造研究所の地域経営のための議会改革度調査において、2016年、

2017年に過去最高の4位という評価をいただいて以来、年々順位が下降ぎみであったが、2022年には過去最高と並ぶ4位、2023年では5位、そして2024年は10位という評価をいただくことができた。

これは、これまで議会活性化に取り組んできた積み重ねが全国的に評価されたものであり、引き続き、市民からも高い評価を得られるよう、議会活性化に向けた取組を続けていくことが重要であると考えます。

よって、次期委員会でも本委員会でもまとめた申し送り事項等を踏まえ、議会基本条例の趣旨に則り、加賀市議会の活性化に向けたより一層の取組を期待する。